

## 道産米輸出企業の米国現法、北洋銀・千葉銀が資金調達を支援

2016/10/1付 | 日本経済新聞 地域経済

北洋銀行と千葉銀行は30日、米ハワイ州で、北海道産米の輸出を手掛けるWakka Japan（ワッカジャパン、札幌市）の米国現地法人の資金調達を支援したと発表した。北洋銀が信用状を発行し、千葉銀ニューヨーク支店が融資した。

有力地銀がシステム共同化などで連携する「TSUBASA（翼）プロジェクト」に加盟する両行は取引先の海外展開支援で協力関係を生かした。

融資を受けたのは、ワッカの現地法人で道産米を卸売りするWakka（ワッカ）USA。今年3月の設立で売り上げは月500万円ほどだが、今後拡大する計画。米国に支店を持たない北洋銀は債務の弁済を保証する信用状を発行。代わって千葉銀ニューヨーク支店がワッカUSAの運転資金として10万ドル（約1010万円）を9月29日に融資した。

北洋銀は4月から千葉銀同支店に職員を派遣、取引先の米国進出を支援する体制を強化した。北洋銀は「連携関係にある地銀や海外金融機関とのネットワークを活用し、取引先の海外展開を支援したい」と話す。

[このページを閉じる](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.